

令和2年度 第5回中津川市総合計画推進委員会での主な意見

令和3年2月22日(月)10:00～

中津川市役所 4階 大会議室

議事1 委員会での主な意見に対する市の対応について

「全体について」

- コロナの影響は数年続くと予測されるため、令和3年度は感染対策や事業の成功事例なども踏まえ、効果的な事業を検討していくことが必要である。また、スピード感や臨機応変な対応など、目標達成に向け優先順位をつけながら進めることが必要ではないか。
- コロナ禍において、WEB会議や情報発信など、市民が困っている部分をサポートできるような仕組みが必要ではないか。また、課題の解決については、ネットワークを張り巡らせ、関連するものは何があるか、常に探りながら進めてほしい。
- 部局横断的な連携については、具体的に何をどのようにするかまで意識レベルをおとしこんで取り組むことが重要である。

「観光推進事業、観光広域連携事業、体験型観光推進事業、外国人観光促進事業」

- 観光の基礎データについては、下呂温泉を有する下呂市が様々なデータを基に観光施策をおこなっているため、参考にすると良いのではないか。
- 地元の方に魅力を知ってもらうことが非常に重要である。特に、学生など若い世代に教育分野など様々な場面で地元を学び、魅力を知ってもらう取り組みが必要ではないか。
- 地歌舞伎や栗きんとんなど、100年後に伝えられるような観光資源に目を向けていく必要があるのではないか。
- 下呂温泉などの有名観光地域は、SNSをうまく活用しているため、参考にしながら地域の魅力を発信してほしい。

議事2 中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂(案)について

「全体」

- 市の定住施策は「若者」をターゲットにしているが、コロナ禍でテレワークなどが進む中で、ある程度年齢を重ねた方のニーズも増加してくると思われ、そういったところにも目を向けてはどうか。
- 市民の方に情報を知ってもらうことが重要で、区長会など地域コミュニティーを通じた情報発信などを積極的に実行していかないと、良い施策があっても活用してもらえないのではないか。
- 市だけでなく、あらゆる方面から情報を発信していくことが重要ではないか。
- 基本目標についてどのように達成していくのか、市民と情報共有することが重要である。また、SDGsやデジタル・トランスフォーメーションなどの取り組みがどの目標や事業に関連しているか発信していく必要があるのではないか。

「企業の認証取得支援事業」

- 企業の認証取得は、働き方改革などで企業のメリットがあり、社会的にも推進しているため、ニーズにあった資格取得を推進する事業を検討してほしい。

「住宅団地開発事業奨励金、中津川に住もう事業」

- 奨励金の対象は 3000 m²以上となっているが、規模が大きくやりにくい部分があると思うので、実績なども見ながら検討してほしい。
- 市の定住施策を活用されている方に、住宅補助などの市の事業をもれなく知ってもらうような情報発信や、住宅や土地探しなどのサポートが必要ではないか。

「結婚活動支援事業」

- 県のマリッジセンターともうまく連携しながら、婚姻数や出生者数などの数字に基づく施策を進めてほしい。

その他

- 坂下高校の福祉科における福祉関係への就業率の低さや、福祉関係の労働環境や賃金など福祉業界自体の課題にも目を向けて取り組んではどうか。
- 市民の方にも分かりやすく、期待感を持ってもらえるような方針を出して取り組むことが必要である。また、どのようなまちづくりをするのか見えないとの意見もあるため、2050年までにどのようなまちにするのかといったプランを示していく必要があるのではないか。
- 結婚活動支援事業について、南木曾町など長野県の方への情報発信などのアプローチも検討してはどうか。
- 市民に意見を求める際は、分かりやすく、イメージをつかんでもらえるような工夫をして説明するなど、理解しやすい情報発信の工夫が必要ではないか。
- 市職員の働きやすさや働きがいを感じられる職場づくりも重要なため、職員の意識調査などを実施してはどうか。